



9 月 定 例 会 概 要

9月定例会は、9月1日から9月29日までの29日間の会期で開かれ、令和7年度歳入歳出決算をはじめ、令和8年度補正予算案等の28件の議案が市長から提出されました。また、請願については2件の提出がありました。

各議案および請願は、予算決算常任委員会、総務文教常任委員会、産業民生常任委員会にそれぞれ付託し、審査を行いました。最終日の本会議では、各常任委員長から議案等の審査結果報告を受け、採決を行いました。

「令和8年度飯山市一般会計補正予算」については、予算決算常任委員会から修正案が提出され、採決の結果、修正案は賛成多数で可決されました。

「飯山市一般職の任期付職員採用等に関する条例」については総務文教常任委員会から修正案が提出されましたが、修正案・原案ともに賛成少数で否決されました。

「財産の無償譲渡について（旧

城南中学校建物）」についても、賛成少数で原案否決となりました。

また「飯山市産業振興条例」については、産業民生常任委員長から継続審査の申し出がりましたが、採決の結果、継続審査の申し出は賛成少数で否決され、原案についても賛成少数で否決されました。

その他の議案については、すべて原案のとおり可決・承認・同意されました。

請願については、「消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める請願」は継続審査、「日本政府に非核三原則の厳守と実行を求める請願」は採択となりました。

その他、総務文教常任委員会から提出された「日本政府に非核三原則の厳守と実行を求める意見書」は、全員一致で可決され、関係行政庁あてに意見書を送付しました。

議案の修正についての詳細は、42ページに掲載しています。

■常任委員会
管内行政視察を実施

9月14日に、総務文教常任委員会と産業民生常任委員会合同で、災害用物資の保管状況について視察を行いました。

担当課から、備蓄状況等について説明を受け、併せてテント式パーティションや簡易ベッドなどの使い方についても確認しました。



現地視察の様子

◆飯山市議会本会議
動画配信しています◆

こちらの二次元コードから



YouTube
「飯山市議会」チャンネル

令和8年9月定例会で
審議された議案等

【決算認定10件】

◇令和7年度飯山市一般会計および各特別会計歳入歳出決算7件・水道事業会計歳入歳出決算1件・下水道事業会計1件

【補正予算案10件】

◇令和8年度飯山市一般会計補正予算1件・各特別会計補正予算7件・水道事業会計補正予算1件・下水道事業会計補正予算1件

【事件案7件】

◇工事請負契約の締結について
◇議決事項の変更について3件
◇財産の無償譲渡について
◇財産取得について
◇専決処分事項の承認を求めることについて「令和8年度飯山市一般会計補正予算（第5号）」

【人事案1件】

◇人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

【継続審査 条例案2件】

◇飯山市一般職の任期付職員の採用等に関する条例
◇飯山市産業振興条例

【請願2件】

◇消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など薬の追加負担を行わないことを求める請願
◇日本政府に非核三原則の厳守と実行を求める請願

【意見書1件】

◇日本政府に非核三原則の厳守と実行を求める意見書

賛否が分かれた議案等の表決結果

○=賛成 ●=反対

議案番号	会派名 議員名		議決結果
	議案等名	会議の種類	
90	令和8年度飯山市一般会計補正予算（第6号） （修正案）	委員会	※修正案についての賛否 ○ ○ ○ ○ ○ 長 ○ ● ● ● ● ○ ○ ○ 議長 修正案可決
		本会議	※委員長報告（修正案可決）についての賛否 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ● ● ● ● ○ ○ ○ 議長 修正案可決
102	財産の無償譲渡について	委員会	※原案についての賛否 ● ● - - 長 ● - ● - ○ - - ● - 議長 原案否決
		本会議	※委員長報告（原案否決）についての賛否 棄権 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ● ● ● ○ ○ ○ 議長 原案否決
22	飯山市一般職の任期付職員の採用等に関する条例	委員会	※修正案についての賛否 ○ ○ - - 長 ○ - ● - - - ○ - 議長 修正案可決
		本会議	※委員長報告（修正案可決）についての賛否 ○ ○ ● ● ○ ○ ● ● ● ● ● ○ ● 議長 修正案否決
		本会議	※原案についての賛否 ● ● ● ● ● ● ● ○ ○ ○ ○ ○ ● ● ● 議長 原案否決
71	飯山市産業振興条例	委員会	※継続審査についての賛否 - - 長 ○ - - ○ - 欠席 - ● ● ○ - ○ 議長 継続審査
		本会議	※委員長報告（継続審査）についての賛否 ● ● ○ ○ ● ● ○ ● ● ● ● ○ ● ○ 議長 継続審査否決
		本会議	※原案についての賛否 ● ● ● ● ● ● ● ○ ○ ○ ○ ○ ● ● ● 議長 原案否決
請願3	消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など薬の追加負担を行わないことを求める請願（継続審査）	委員会	※継続審査についての賛否 - - 長 ● - - ○ - 欠席 - ○ ● ○ - ○ 議長 継続審査
		本会議	※委員長報告（継続審査）についての賛否 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ● ● ● ○ ● ○ ○ 議長 継続審査

身者用とする考えはあるか。
答 単身世帯の入居については、公営住宅法や条例によって制限があるが、課題と考え研究をしていきたい。

議案第90号令和8年度飯山市一般会計補正予算(第6号)(修正可決)

○総務課
【旧城南中学校利活用事業負担金】
問 債務負担行為補正の旧城南中学校利活用事業負担金4億7000万円の根拠は。
答 飯山市が除却等の工事を発注した場合の見積額が算出根拠である。
問 市が先に負担金額を提示する必要性はあったのか。
答 公募要件として市の負担金の上限額を提示する必要があった。
問 実際に工事を発注するのは跡地を利活用する事業者である。実際にかかる費用のチェックはきちんとできるのか。
答 市では相手側の設計内容について、過大積算がないか等をチェックする。市が発注する場合と同程度の精度は確保できるものと考ええる。
問 利活用する際の事業内容については簡単な図面しかなく、可否を判断するための情報が足りない。もっと細かい計画を示していただきたい。
答 具体的な計画図等を作るには費

用がかかるため、無償譲渡と予算が承認されないと、事業者側でお金をかけて発注できないという事情がある。
問 市は運営の方法や投資額、売上の見込みなど、十分に把握できるだけの、具体的数字を事業者から提示されているのか。
答 公募審査委員には事業の収支・投資額等の説明がされ、そのうえで判断し、推薦をいただいた。市にも、応募資料と併せて該当企業の決算書等を提出いただき、すべての資料を確認したうえで決定した。
問 壊す建物が決まっていれば、市の責任で除却工事を行うことができるのでは。
答 公民連携の手法を用いて、スピード感を持って事業が進むように実施してきた。市が行う場合は時間が必要になる。

【委員会が出された意見】
 ・旧城南中学校利活用事業の公募は、応募期間が短かったために2者しか応募がなかったのではないかと。後で行政の事務がおかしかったと言われても仕方ない。
 ・判断するために、事業内容等の詳しい資料が欲しい。内容がはっきりわからないままでは決められない。

総務文教常任委員会

○総務課
【議案第22号 飯山市一般職の任期付職員採用等に関する条例(否決)】
問 一般職の任期付職員として採用する理由は何か。
答 雇用条件として任期をはっきりさせたうえで正規職員として雇用することができ、雇用側も雇われる側も安心できる。
問 採用人数について限度は設けないのか。
答 職員定数管理計画では正規職員の目安を240人としているため、それを少し超える程度の範囲と考える。
問 当面採用したい職種として、土木技師・国民スポーツ大会関連業務従事者・育児休業代替職員が挙げられているが、これ以外の専門職も採用できるのか。
答 職員定数との兼ね合いもあるが、状況によって多様な職種を採用する可能性は当然ある。

議案第102号 財産の無償譲渡について(旧城南中学校建物)(否決)

○総務課
問 旧城南中学校について、宿泊施設の計画で利活用を進めていくこと

は、どこが主体で決めたのか。
答 決めたのは執行機関である市長である。また各段階で、市長を含めた庁内協議を行っている。

産業民生常任委員会

議案第106号 議決事項の変更について(千曲川堤防内水排除施設整備工事)

○道路河川課
問 ポンプでくみ上げた内水はどこへ排水するのか。
答 千曲川の水位が上昇し、通常の排水路のゲートが閉じた際には、内水をポンプでくみ上げ、堤防の上を越えて千曲川に放流する。
問 ポンプの数を、静間上流工区で5台・下流工区で1台とした根拠は。
答 令和元年東日本台風の最大降水量を基準に計算し、最大時でも排水が可能な容量を設定している。
問 上流工区に比べて下流工区の方がポンプの能力が小さいが、問題はないか。
答 上流側には小河川や水路が集中的に流入するため、規模を大きくしている。下流側も水量の分布計算に基づいて適切な容量で設計している。

各議員の一般質問についての記事は11月号に掲載します。

修正議案のポイント

■令和8年度 飯山市一般会計補正予算(第6号)

自然エネルギー活用事業

事業費全額(業務委託料等) 278 万円余を削除。

修正理由 十分な冷房効果が得られないなど実用性に課題があり、費用対効果も不透明なため、事業の目的や導入手法について、更なる精査が必要。

市民協働推進事業(自分ごと化会議)

事業費全額(業務委託費等) 431 万円余を削除。

修正理由 設定テーマが広範囲で成果につながる制度設計が不十分であり、外部委託や早期予算化の必要性に疑問が残る。また、市独自による課題整理や既存手法の活用を含め、段階的な検討を行うべき。

旧城南中学校利活用事業負担金 債務負担行為※

債務負担行為全額 4 億 7 千万円を削除。

修正理由 判断をするために必要な、事業計画の内容について資料が示されておらず、現時点においてこれを認めることは困難である。

旧城南中学校利活用事業の関連議案である、「財産の無償譲渡(旧城南中学校建物)」についても、同様の理由で否決となりました。

※債務負担行為とは・・・翌年度以降に支払いが生じるものについて、あらかじめ将来の支出を約束することです。



予算決算常任委員会審査の様子

常任委員会議案審査

委員からの主な質問および意見と市からの説明について抜粋して掲載します。

予算決算常任委員会

議案第80号 令和7年度飯山市一般会計歳入歳出決算

○道路河川課

問 「協働のいじしゅうぜん事業」ラジコン式および自走式の草刈り機について、区への貸し出し実績は。

答 令和7年度の実績としては、9月の導入開始から、4集落へ各1回の貸し出し。令和8年度は9月14日現在で7集落へ計10回貸し出ししている。

○移住定住推進課

問 「市営住宅整備事業」市営住宅について、若者等のニーズに合わせて単